

令和6年度第2回川崎市食育推進会議部会（摘録）	
日 時	令和7年2月3日（月）午後3時～4時30分
会 場	川崎市役所本庁舎2階204会議室
出席者	<委員>佐野喜子部会長、石渡宏之委員、當間幸江委員、小出善茂委員、小川町子委員、吉岡綾子委員、大川護委員、小林直樹委員、杉中祐介委員、志賀美知子委員（委員名簿順） <事務局>健康福祉局保健医療政策部担当部長 半澤元章、市立看護大学公衆衛生看護学領域講師 遠藤雅幸、経済労働局都市農業振興センター農業振興課長 川口愛、環境局生活環境部減量推進課長 増田亘宏、こども未来局保育・子育て推進部運営支援・人材育成担当課長 佐藤美佳、教育委員会事務局健康給食推進室食育推進担当課長 内野直美、健康福祉局地域包括ケア推進室担当課長 永井麻由美、保健医療政策部担当課長 阪田敬子、健康増進担当課長 高橋伸孝、健康増進担当課長補佐 國米佑宇、健康増進担当主任 北野葉子、小林一江、健康増進担当 青木優里
欠席者	<委員>田邊静江委員 濱谷由美子委員 久津摩英子委員 <事務局>健康福祉局保健医療政策部担当理事 田崎薫
傍聴人	なし
1 開会	
事務局	当部会は川崎市審議会等の会議公開に関する条例に基づき公開する。
2 議事	
（1）令和6年度食育の取組について（報告）	
佐野部会長	議事（1）について、事務局から願います。
事務局	資料3に基づき、令和6年度食育の取組について説明。
佐野部会長	ただいまの議事について、意見や質問はあるか。
大川委員	市制100周年に関連した様々な取組を行っており、素晴らしい。のらぼう菜の種や苗の配布について、子どもたちの興味関心が高まったとのことだが、どのように育てたのか等について願います。
事務局（こども未来局）	園庭がない保育所では、プランターを使用するなどして、活発に取り組まれたようである。
佐野部会長	ベジチェックについて、明治大学での参加者は203名と多かったが、体験後の参加者の反応を願います。
事務局	明治大学でのイベントでは、農学部の学生に多く参加いただいた。農学部の学生は定期的にベジチェックを使用する機会があり、予想通りという反応が多かった。初めて測定した参加者についても、自身の野菜摂取量の低い結果に納得されている様子であった。
佐野部会長	委員の皆様の所属団体の取組について、特に今年度新規で取り組まれたものを中心に御説明を願います。

小川委員	「手軽に野菜が摂れる料理レシピの開発や啓発」 市制１００周年にちなんだ取組として、一人１食１００ｇ以上野菜を摂取できるレシピ集を作成した。各区にいる食生活改善推進員が作成したレシピを持ち寄り、選考により７品を選んだ。レシピ集は現在印刷中のため今後配布を行いたい。選定の基準としては、一人暮らしの方や働き盛り世代を対象に簡単で取り入れやすいもの、減塩の工夫があるものとした。今後もイベント等で普及啓発を行いたい。
吉岡委員	「食育実践 無料朝食イベント」他 横浜市にある高校から朝食の喫食率を上げたいとの要請を受け、生徒に対し朝食の無料提供を実施した。また、「見た目だけではわからない気になる健康度を見える化チェック」と「貧血チェック＋管理栄養士の食生活アドバイス」の２つのイベントを開催し、骨の健康度・血管年齢・肌年齢チェック、栄養士による相談等を行った。どちらのイベントも参加費無料とし、多くの参加があった。
大川委員	「市制１００周年 岡上田んぼアート」 市制１００周年を記念し、麻生区の農業振興地域である岡上で古代米、うるち米の２種類の稲を用いて田んぼアートを実施した。アートでは「祝川崎市制１００周年 by J A」と記載。６月の中旬に、地元の方々や組合長や組合員等が集まり、２日間延べ１６０名で田植えを実施し、９月上旬には完成した。その後、市内在住小中学生の親子を１００名募集し、稲刈り、笹掛体験を実施し、麻生区長も来られた。収穫したお米は麻生区の賀詞交歓会でおにぎりとして提供し、広く市民に市制１００年の周知を行うことができた。
佐野部会長	実体験というのは、非常に記憶に残る貴重なものである。
大川委員	募集は１００名であったが、定員以上の応募があり、非常に盛況であった。
小林委員	「エコ・クッキングでろう たちばな野菜親子料理教室」 高津区地域振興課と連携し、高津区の農業を知ってもらうこと、地産地消を行うことに、エコ・クッキングの要素を取り入れ実施した。実施日はこれから（２月１５日）のため、先々週に募集を締め切ったが、定員８組のところ、１３組３１名の応募があり好評だった。来年以降も好評であれば、継続していきたいと思う。
杉中委員	「食堂イベント 勝ち飯®」 ２０２４年のパリ五輪を応援する企画として、勝ち飯®「夏に打ち勝つ回鍋肉セット」と「豚肉のつけ黄金ニラ炒飯」の阿部一二三選手・詩選手が食べたメニューを提供し、たいへん盛況であった。「勝ち飯®」は、当社のオリンピック選手の栄養サポートを行う活動から生まれたが、現在の「勝ち飯®」は「日本代表選手のサポート」から「がんばる人のチカラになるごはん」へと広がっている。アスリートの食事は、我々と比べて特別なものではなく、一般的な食材を使った食事であることを知っていただくことで、食事・栄養の重要性を伝えていきたい。
(２) 令和７年度食育の取組について (案)	
佐野部会長	議事（２）について、事務局から願います。

事務局	資料４に基づき、令和７年度食育の取組（案）について説明。
佐野部会長	ただいまの議事について、意見や質問はあるか。
當間委員	昨今の食費の値上げにより、関心はあるが野菜摂取ができない方が多いように思う。先ほど、令和５年度の野菜摂取量に関する調査結果が示されたが、令和６年度も野菜の摂取量が下がるのではないかと危惧する。物価が高騰した分、勤務時間を長くすると、作る時間もなくなり、野菜を更に取れなくなるのではと思う。上手い解決策があれば考える。
佐野部会長	川崎市だけの問題ではない気がする。対策について何か御意見があればお願いします。
小出委員	本会議は医師会にも御協力を頂いている。医者が野菜摂取、減塩等の食生活について助言すると、意識するようになるのではと考える。
石渡委員	１日に必要な野菜の摂取量等の目安については、目安量を示すだけでなく、睡眠や肌トラブルとの関連性等を伝えると意識するようになるのではと考える。幼稚園では朝食摂取の習慣がない御家庭について、園児の日中の活動状態について集中力が欠けているように感じるため、先ずはバナナ一本等、何か食べることからはじめてみてはと、保護者にお伝えすることにより、朝食の必要性を意識する方もいらっしゃる。 最近、こども食堂のコマーシャルを見かけることも多い。次期食育推進計画については、小中学生や高校生への食育に加え、市内子ども食堂の数や利用者数についても考慮し、アプローチすべきターゲットを検討してもらいたいと考える。
志賀委員	クリニックで管理栄養士として栄養相談をする際に、野菜摂取について働きかけると、野菜が売り切れている、値段が高いなどの理由で買えないという話がでる。生の野菜を買わなくても、冷凍食品やきのこ類は比較的価格が安定していること、電子レンジを上手に活用することと調理が手軽であることなどを啓発していくことが必要だと考える。
大川委員	物価の高騰については生産者としても困っている状況がある。輸入に頼る農薬や肥料、農業資材の高騰、そして異常気象により生産事情が厳しくなっている。全ての野菜が高い訳ではないため、加工食品や安価なものを上手く活用してほしい。 また、こども食堂については、一部農産物の提供をしている。 参考資料６について、野菜の摂取量は男性の方が女性より多いが、食生活を改善することに関心がない割合は女性の方が男性より少ないのはなぜか。
佐野部会長	設問の詳細は不明であるが、食事の量が男女で異なるからではないか。グラム数で比較すると、男性の方が食べる量が多い。 参考資料５「食品の備蓄のすすめ」については、事務局から事前にいただいた委員の御意見を反映させたとの説明はあったが、追加で何かあればお願いします。
大川委員	今までは、避難所に行くことが普通だったが、最近は在宅避難が勧められている。このリーフレットは、避難所に避難する人、在宅避難の人どちらに対するものか。

事務局	改訂前のリーフレットについては、在宅避難についての記載がなかったが、今回、新たに追加した。備蓄については、全ての方を対象に願います。
佐野部会長	リーフレットの配布に協力をいただける団体はあるか。リーフレットの配付に加え、例えば、所属のSNSや各団体で作成している定期的な発行物に必要な情報を抜粋して掲載すること等による啓発の方法もあるので、協力が可能な場合は、事務局宛てに連絡をお願いします。
小林委員	土曜日に川崎区と宮前区で防災訓練があり、参加を予定している。「日々のごはん」と「もしものごはん」というレシピを開発し、乾パン等の高齢者にとっては食べにくいものを柔らかく調理する方法や、そのままだと味気ない非常食を美味しく調理する工夫を記載したリーフレットを配布している。レシピの開発について協力が可能である。
當間委員	宮前区の防災訓練に参加を予定している。PTA協議会は避難所開設等の会議にも参加しており、情報共有をしている。今回改訂されたリーフレットはとても分かりやすい。PTA協議会の全国大会を令和6年度は川崎、次年度は石川で開催予定であることや、最近、地震も多いことから防災への意識も高まっている。機会があれば川崎市PTA協議会として紹介したり、情報共有を行いたいと考える。
小川委員	リーフレットについては、発災時は避難所に行けば何とかなんと勘違いをしている方も多いと感じることもあることから、在宅避難について追記がされてよかったと思う。また、リーフレットに記載があるパッククッキングについては、食生活改善推進員連絡協議会として、実演をしながら啓発をしている。参加者からは予想以上に手軽で美味しいといった感想をいただくことも多い。講習会等の希望があればお声かけをお願いします。
3 その他	
小林委員	国の後援により、食育シンポジウム「環境に優しい食育協議会シンポジウム」を2月27日に開催する。御都合がよろしい方は、参加をお願いします。
事務局	次回の会議は3月17日に川崎市市役所本庁舎で予定している。よろしく願います。
4 閉会	